



仲間に 入りませんか

翠峰流建依別吟詠会 西山教室の仲間たち

平成十六年から、週に一回岩村公民館のお部屋をお借りしております。長く西山公民館で練習をしていたのですが、縁あってこちらに移ってまいりました。そしてはや、四年目を迎えました。詩吟は大声を出して吟じますので、周りには何かとご迷惑をおかけしている事もあるうかと思えます。公民館をお借りしている仲間としてお許しを頂き、今後とも宜しくお願い致します。

現在は、師範の私を入れて五名で和氣藹藹と練習しております。しかし休む方もおられ、なかなか五名が揃いません。それでも、長く続けることが上達につながります。お声を出すこと自体が健康を保つ上でも有効であると実感しています。

お声を出しておれば何歳になっても若々しい声が保てます。吟の仲間には高齢者も多く、元気に舞台上で吟じられています。

私達は、高知県詩吟剣舞連盟に加盟しており、連盟主催の詩吟剣舞舞春季大会や、財団法人日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠コンクール、コロナビア、

キング、ビクター、クラウン等の各レコード会社主催のコンクール等出場を希望すれば発表する機会は沢山あります。強制ではありませんが、目標を持つやる気も出て、元気になる要素でもあります。広く仲間を募っておりますので、この紙面をお借りしてお誘いさせて頂きます。年齢は問いません。お子さんの情操教育にもなります。又日本の古来の文化でもありますので、若い方に伝承して行きたいとも思っています。お子さん、お孫さんにも勧めて頂ければ嬉しいです。

毎週水曜日、午後七時から練習しています。来聴は大歓迎です。是非試しに聴いてみて下さい。お待ちしております。

吟詠会 西山教室
副会長 山本翠浩さん寄稿

小鳥の目覚まし

朝は鳥になって、あなたを目覚めさせる。

朝の訪れと共に部屋で同居の

小鳥たちの声が一段とにぎやかになって来ます。

インコのピーちゃんは何やら「ごによごによ」と歌っているようにさえ感じています。

多彩な声を出すので言葉を教えたらきつとおしゃべりインコになったことでしょう。

文鳥のブンちゃんは水浴びが大好きです。

指を入れると怒ったように噛みついてくるので、これは手乗り向きかもしれません。

前に飼っていた手乗りインコを逃がして悲しい思いをしたので、もう手乗りにはしないと決めていますが、小鳥を手のひらに包んだときの柔らかいぬくもりは忘れられません。

鳥かごにそつと顔を近づけると「ん？」というふうには首をかしげまるい目を向けて来ます。

つやつやの羽毛、美しい姿、翼を広げたり片足を上げたりするしぐさ、眺めているだけで心がふんわりして来ます。

「ピーちゃんおはよう、ブンちゃんおはよう」と声をかけて私の一日が始まります。

鳥崎みよさん(金地)寄稿